

**第6期北九州市障害福祉計画・第2期北九州市障害児福祉計画の  
目標等の管理シート**

担当部局	保健福祉局 障害福祉部
------	-------------

**成果目標 (3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実**

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>○令和5年度末までの目標値</p> <table border="1"> <tr> <td>地域生活支援拠点等</td> <td>1箇所以上を維持</td> <td colspan="3">運用状況を検証、検討するための会議を年1回以上開催</td> </tr> </table> <p><b>【目標設定の考え方】</b>                  障害のある人やその家族が地域で安心して生活できるよう、緊急時にすぐに相談でき、必要に応じて緊急的な対応を図る体制として、地域生活支援拠点等の整備を行うとともに、地域のニーズや課題に応えられているかを継続的に検証・検討を行う。</p>					地域生活支援拠点等	1箇所以上を維持	運用状況を検証、検討するための会議を年1回以上開催																						
	地域生活支援拠点等	1箇所以上を維持	運用状況を検証、検討するための会議を年1回以上開催																												
活動指標 (内容)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域生活支援拠点等の設置</td> <td rowspan="2">設置箇所数</td> <td>見込</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機能充実に向けた検証及び検討会</td> <td rowspan="2">実施回数</td> <td>見込</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5回</td> <td>2回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>								R 3	R 4	R 5	地域生活支援拠点等の設置	設置箇所数	見込	1箇所	1箇所	1箇所	実績	1箇所	1箇所	—	機能充実に向けた検証及び検討会	実施回数	見込	3回	3回	3回	実績	5回	2回	—
			R 3	R 4	R 5																										
地域生活支援拠点等の設置	設置箇所数	見込	1箇所	1箇所	1箇所																										
		実績	1箇所	1箇所	—																										
機能充実に向けた検証及び検討会	実施回数	見込	3回	3回	3回																										
		実績	5回	2回	—																										

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 3年度	<p><b>評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</b></p> <p>令和3年度は、緊急時の受入施設として、3施設各1床空床を確保。3施設ともに、①介護者の不測の事態で在宅での支援が困難なケース（従来の機能）や、②新型コロナウイルス感染症等で在宅での支援が困難なケースを受入対象者とした。受入実績は、令和2年度が1名であったが、令和3年度は4名と増加した。                  また、令和3年度は、機能充実に向けた検証・検討会を5回実施した。                  地域生活支援拠点等の面的整備を進めるため、今後は、拠点等の機能である「相談」「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」について、それぞれの機能を担う事業所を公募により選定し、モデル的運用を行う予定である。</p>
	<p><b>協議会等意見 【評価等に対する意見】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、サービスが部分的に閉鎖されたり、事業所全体で感染するなど、通所することが当たり前だった生活が一転した。                  親が元気なうちにできることをやっていきたいが、親も高齢化していき親亡き後を考えると不安でいっぱいである。                  地域生活支援拠点の整備は親にとって本当に大事なことだと思うのでしっかりと取り組んでいただきたい。</p>	
	<p><b>改善 (A) 【次年度における取組等】</b></p> <p>令和5年度中のモデル実施を目指し、地域生活支援拠点の機能である「相談」「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」を担う事業所を認定するための基準を策定中です。令和5年度は緊急時の受け入れ施設が減少（2施設→1施設）する見通しであるため、施設選定の参考や、事業の改善のために、今年度の対象施設へ聞き取り調査を行いました。また、事業開始後のモニタリングの実施や、地域からの声を本事業に反映させていく仕組みについても検討中です。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価(C) ↓ 改善(A)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">R4年度</p>	<p><b>評価(C)</b> <b>【目標等を踏まえた評価、改善方策】</b></p> <p>令和4年度は、緊急時の受入施設として、2施設各1床空床を確保。①介護者の不測の事態で在宅での支援が困難なケース（従来の機能）や、②新型コロナウイルス感染症等で在宅での支援が困難なケースを受入対象者とした。受入実績は、令和4年度 2名（ほか、相談対応のみ15名）。 また、令和4年度は、機能充実に向けた検証・検討会を2回実施した。 地域生活支援拠点等の面的整備を進めるため、令和5年度中に、拠点等の機能である「相談」「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」について、事業所を公募により選定し、モデル的運用を行う予定である。また、事業開始後は、北九州市障害者自立支援協議会地域ネットワーク部会において、実施状況、実績、課題等を報告し、現状の把握や課題解決のための助言を行うとともに、今後の方向性や取り組みについても検討を進める。</p>
		<p><b>協議会等意見</b> <b>【評価等に対する意見】</b></p> <p>○令和5年度は緊急時の受け入れ施設が減少する（2施設が1施設）とあるがなぜか。しっかり整備してもらいたいと思う。 ○地域生活支援拠点の整備については情報が入ってこない。前に聞いたときはコロナ禍で施設名は公表しないということであったが、今後情報提供はないのか。わかりにくいので情報提供してもらいたい。</p>
		<p><b>改善(A)</b> <b>【次年度における取組等】</b></p> <p>○コロナ禍が明け、受け入れ数が落ち着いている（受入数：R3年度3件、R4年度2件）こと、また、結果的に、令和4年度の利用が1施設のみであった（2施設目は利用せず）こと等から、1施設1床の確保が適当としました。令和5年度以降も1施設1床で実施予定です。 ○地域生活支援拠点等整備については、令和5年2月に本事業を担う事業所の募集を実施し、選定後、令和6年度からモデル的に開始する予定です。決定次第、速やかに市ホームページ上に事業所名を掲載します。今後は、障害者自立支援協議会等で評価及び効果検証を行いながら、運用を拡大させていきます。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価(C) ↓ 改善(A)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">R5年度</p>	<p><b>評価(C)</b> <b>【目標等を踏まえた評価、改善方策】</b></p>
		<p><b>協議会等意見</b> <b>【評価等に対する意見】</b></p>
		<p><b>改善(A)</b> <b>【次年度における取組等】</b></p>

